

みんなの 活動だより

ねん がつ
2016年4月
だい ごう
第39号
はっこう こうほう ぶかい
発行:MISHOP広報部会

平和研究者の大崎敦司さん 交流トークや国際理解講座で熱弁

The International Understanding Program Exchange Talk by Peace and Reconciliation Researcher, Mr. Atsushi Osaki



2月27日の多文化教養部会をはじめ、3月1日のイングリッシュラウンジ、5日の時事問題について語り合う会、12日の国際理解講座と、計4回にわたり、元朝日新聞記者で平和研究者の大崎敦司さんがMISHOPを訪問。アフリカや中東で起きていることの報告を中心に、会員らとの交流で盛り上がりました。戦争と平和について深く考える良い機会になりました。

テロは本当に悪なのか? (2/27)

多文化教養部会では、第一部で大崎さんが撮影した、紛争で駆り出されるアフリカ・リベリアの少年兵の写真を展示。参加者は見入っていました。

第二部では大崎さんが「イラク・シリア

で起きていること～中東・アフリカ研究の現場から」と題して講演。特にイスラエルによるパレスチナへの弾圧を例に挙げて「身内を殺害された上、衣食住に困る極限状況に追い込まれた人々に、報復のためのテロは悪と言えるでしょうか?」との問いかけに、会場は静まり、問題の深刻さがうかがえました。

第四部はICU准教授でMISHOP理事のクリストファー・ボンディーさんの交流トークで、初来日の際、日本の女性に電車の切符購入を助けてもらったエピソードを挙げ、「自分の安全圏(Comfort Zone)を飛び出すこと、他の人々を知ることや自分自身についても深く考えることが国際交流では大事」と話しました。

【写真はすべて国際理解講座】

相手を嫌う心が戦争の始まり (3/1)

イングリッシュラウンジでは、大崎さんが「平和研究の30年～戦争と和解を考え、多文化共生を模索して」の題で、「We are the world」などの曲を交えながら熱弁を奮いました。大崎さんは高校時代にアフリカの惨状を知ってから平和について関心を持ったことが、研究者としての活動に結びついていると説明。平和学について、自分と利害が対立している相手と、いかに接触して、「時に争いに至りながらも、交渉して変化してゆく流れ自体が平和のプロセス」と説明しました。

また「戦争・紛争は双方の側から見なければならぬ」と強調。「時には相手に飛び込んで、相手の立場になり、異なる文化理解につながる事ができる」と、アフリカでの特派員時代の経験を交えて話しました。

日本人は歴史を直視して (3/5)

時事問題について語り合う会では、大崎さんが「日・韓の和解と平和を



考える～戦後70年と歴史認識問題」と題してスピーチ。侵略戦争の歴史認識では「中国・韓国の方々が『謝られた』と実感できるかどうか肝心、私はいつまでも謝り続けます」と話し、討論が始まりました。

大学生が「日本は戦争で被害を受けた国だと思っていました、中国・韓国の友達に話を聞いて、加害者だと分かりました。歴史を学んで、交流することが大事だと思います」と話し、大崎さんが「大賛成です。草の根の交流が大事です」と応える一幕もありました。

歴史はひとりひとり全く違う (3/12)

国際理解講座では、大崎さんが「戦争と平和、和解を考える～アフリカ・中東の現場から」のテーマで、肺炎で体調が万全でないにもかかわらず、2時間半にわたって語りました。

大崎さんは8月15日の意味を考えたとしても「私達が見ている戦後70年の歴史は人によって全部違います。私自身、父親が長崎で被爆し、胎教で

せんそう へい わ まな みずか げん
戦争と平和を学びました」と自らの原
点を説明しました。

アフリカ・中東の話題では「意外にも、
もともとシリアではイスラム教とキリスト
教が平和に共存していました」と現地
の教会の写真を見せながら説明。歴史
や宗教を知ることが、現在の「イスラ
ム国」の存在を解く鍵になるとしました。
最後に、新聞社特派員や平和研究者

としての経験^{けいけん}を踏^ふまえて「政治^{せいじ}的なプロ
パガンダ^{いちばん}が一番^{きけん}危険^{いま}。今シリア・イラクで
お^{せん}起^{せん}きている戦争^{げんいん}の原因^{しゅうきょう}は、宗^{しゅう}教^{きょう}ではな
くて政治^{せいじ}、権^{けん}力^{りき}闘^{りょく}争^{とうそう}そして『民族^{みんぞく}』は、
と^{とき}時^{けんり}の権^{けん}力^{りき}者^{しや}が唱^{とな}える幻^{げん}想^{そう}です」と話し、
「私^{わたし}の話^{はなし}はと^じても2時間^{じかん}には収^{おさ}まりま
せん。関^{かん}心^{しん}ある方^{かた}々^たにはと^つこ^あとん付^つき合^あ
います」と、講^{こう}座^ざ終^{しゅう}了^{りょう}後^ごも参加^{さんか}者^{しや}と
熱^{ねっ}心^{しん}に語^{かた}る姿^{すがた}が印^{いん}象^{しやう}的^{てき}でした。

「This trip was awesome!!!
Please don't change anything.」
(サシャ・セニア ジャマイカ)



「今年^{ことし}も楽^{たの}しく参加^{さんか}させていた^ただきま
した。初^{しょ}心^{しん}者^{しや}のク^くラ^らス^らの^ら人^{ひと}達^{たち}が2日^{ふつ}間^か
でゲ^げレ^れン^れデ^での^の上^{かみ}から1人^{ひとり}で滑^{すべ}ってお^お
り^りと^とこ^ころ^ろを^をみ^みと^とど^どけ^けら^られ^れて^てよ^よか^かっ^った^た
で^です。参^{さん}加^か者^{しや}の^のみ^みな^なさん^{さん}と^とた^たく^くさ^さん^ん話^わ
す^すこ^こと^とが^がで^でき^きて^て楽^{たの}し^しか^かっ^った^たで^です。願^{ねが}わ^わ
く^くば^ば2泊^{はく}3日^{みつ}の^のス^すキ^きツ^つア^あー^あだ^だっ^ったら^らな
い^いと思^{おも}い^いま^ました^た(笑)」(渡^{わた}辺^{なべ}夏^{なつ}美^み 日^に本^{ぽん})

The MISHOP International Exchange Ski Tour 2016

Fun and Games, in Exchange!

Our 2-day International Exchange Ski Tour 2016 at Chateraise Resort Yatsugatake was a complete success. We hit full capacity soon after tickets became available. A total of 42 people attended including 23 people from nine different countries. Bad weather on our 1st day kept us inside, but we had a fun night of games and conversation. But good weather on our 2nd day allowed everyone—from beginners to experienced skiers—to have a great time on the slopes. Attendees praised our event saying: “The trip was awesome!” “I wish it was THREE days!” and “MISHOP, I love you!” This is a popular event, so mark your calendar and don't miss out next year!

国際交流スキーツアー2016 スキーやゲームで交流

2/20 ~ 2/21



「国際交流スキーツアー2016」が
2月20日~21日の1泊2日、長野
県のシャトレゼスキーリゾート八ヶ
岳で開催されました。今年も大人気で、
ニュージーランド、ジャマイカ、ウク
ライナ、中国など9カ国・地域の外国
籍市民23人と日本人ボランティア・
スタッフ17人、事務局2人が参加し
ました。
初日は雪と雨であいにくの天気です

たが、夕食後、ゲームやおしゃべりを
楽しみました。二日目は晴天に恵まれ、
雪を被った八ヶ岳連峰を望みながらの
スキー講習。初めての人も滑れるまで
上達しました。

感想シートから (原文のまま)

「参加して来た本当によかった! 珍
しい思い出ができた! ありがとうございます
です。もし機会があったら、もう一度
参加したいと思います! 飲み会もいっ
ぱい話した。楽しくておもしろかった!」

(チョウ・チー 台湾)
「楽しかった。もう一度参加したい。ス
キーが大好きです。みんなもやさしい。
MISHOP...I love you.」(ウ・ロン 中国)



2016年度が始まりました。イベント部会(一般)では、5月
15日(日)開催の「国際交流ウォークラリー」に向けて準備を進め
ています。4月9日(土)午後にはコースの実踏調査が行われます。
同部会ではコースやクイズづくり、当日の進行などを担うボランティア
スタッフを募集中。お手伝いいただける方は事務局にお申し出ください。

2016 has begun. Our International Exchange Walk Rally 2016 will be held
on May 15. We are seeking volunteer support staff. There will be a preliminary
survey Saturday afternoon, April 9th.